

ドキュメンタリー映画

空色の故郷

上映会

絵に刻まれた
中央アジアの
コリアン・ディアスポラ

キム・ソヨン（金素榮）監督、2000年制作、93分
韓国語・ロシア語（日本語字幕付き）

日時：2014年2月3日（月）15：00 - 17：30

場所：京都大学稲盛財団記念館大会議室（3階）

プログラム：15：00 - 16：40 映画上映

16：40 - 17：30 キム・ソヨン監督講演、質疑応答

入場無料、事前登録不要

作品解説

スターリン時代のソ連で対日スパイの懸念ありとの理由で沿海州から中央アジアへ強制移住させられた約20万人の朝鮮人（高麗人）。その中に、9歳の少年シン・スンナム（ロシア名ニコライ・シン）がいた。やがてウズベキスタンの美術学校を卒業し、画家となった彼はこの強制移住の悲劇と高麗人のその後の過酷な運命をキャンバスにぶつげずにはいられなかった。ソ連解体まで生き抜いた強制移住経験者のいくつかの証言を交えながら、後にアジアのピカソと呼ばれるようになる巨匠の圧倒的な力を持つ傑作「レクイエム」と、静かな、しかし限りなく深い画伯の想いに迫るドキュメンタリー映画。

◆2000年プサン国際映画祭ウンパ賞、ソウル国際ドキュメンタリー映画祭大賞

◆2001年山形国際ドキュメンタリー映画祭スペシャルメンション賞、アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭公式上映、ニューヨーク・アジア・アメリカ国際映画祭（AAIFF）公式上映、フランス国際オーディオ・ビジュアル映画祭公式上映

◆2002年台湾国際ドキュメンタリー映画祭NETPAC賞受賞



キム・ソヨン監督

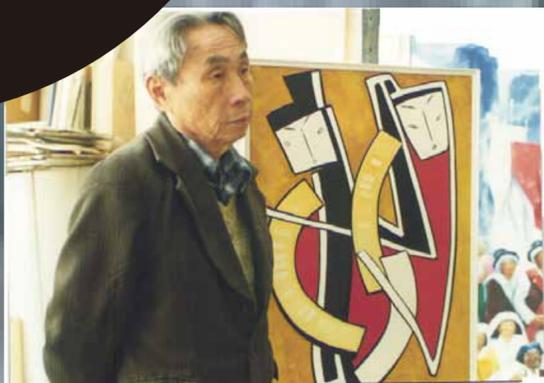
1968年ソウル生まれ。1992年韓国外国語大学卒（フランス文学専攻）。ドキュメンタリー映画「Tail of City」助監督、フィクション映画「The Nail」スクリプター、劇映画「Coup d'Etat（クーデター）」助監督を務めるなど、韓国映画界で経験を積み、1997年から4年の歳月をかけて制作した「空色の故郷」で監督デビュー。映像の持つ可能性を学術的にも探求するため文化人類学を学び、2013年神戸大学大学院国際文化研究科文化人類学コース修士課程修了。



cias_Access

お問い合わせ

obiya@cias.kyoto-u.ac.jp



主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）「中央アジアのイスラーム・ジェンダー・家族 — 『近代化』再考のための視座の構築」（研究代表者：帯谷知可）

共催：京都大学地域研究統合情報センター